

# 中学生のための連句体験授業 裾野市立東中学校

令和四年十二月二、九日

念願の連句授業が東中学校のご理解を頂き二年ぶりに実現しました。

二年生四クラス、百二十二名を対象に、二回に分けて行いました。それぞれ五、六人の座に別れ、心一つに助け合いながらの共同作業です。

また今回初めて、日本連句協会のご協力を頂き、リモートの座を四座設け、遠方の方々が捌をお引き受けくださいました。

和やかな雰囲気の中、



時折、賑やかな笑い声も聞かれ、言葉選びに興じている様子が見られました。生徒たちには、相手の心に寄り添い、結びついてくれることを願います。

## グループ名「みかん」

### 表合せ八句「何がくるかな」の巻

捌 半田 有杜

クリスマス何がくるかなプレゼント	藤原 善司
凍土(いてつち)の中打球空飛び	日吉 蓮弥
何もかも夢の中では上手くいく	萩原 杏香
今日こそ言うぞ思い伝わ	勝又 唯華
ドキドキと恋愛ドラマで疑似体験	高藤くるみ
緊張続く入学試験	米田 ゆい
花盛り大きく足をふみ出した	唯華
雪どけ水が裾野流るる	蓮華

## リモート グループ名「アイス」

### 表合せ六句「冬の朝」の巻

捌 奥野美友紀

冬の朝息が続かず立ち止まる	黒田 政宗
見上げた空は粉雪の中	細谷 玲衣
好きなひとと思うだけでも青春に	鈴木 英利
画面越しでも溢れる良さが	杉山 真奈
花の道犬よりはしゃぐ大人達	玲衣
うららかな日に出会い求めて	執筆

## 連句を体験して

連句は裾野市の文化ということもあり、きっちりしたものかと思っていきましたが、みんなで自由に句を重ねることができました。また温かい雰囲気が進めていただけたのでこれまでのイメージが変わり、楽しく良い時間でした。自、他、場、三冬などの言葉も知ることができました。

先生がおっしゃられた「友達と長句と短句を連ねて遊ぶ」というものをやってみようと思います。

庄司優羽花

今回連句という私達の生活と身近ではないものに触れることができてとても良い経験になりました。今回の体験を通して連句とは、自分や他の人の気持ち、身近な風景などを表すことができる上、日本の特徴である四季を感じ、学ぶことができることを知りました。

これからは日記など日常生活に連句を取り入れ、自分の言葉の幅を増やしたり、



新しい学びを深めていきたいと思います。

河口巧磨

とても楽しい時間でした。初めて連句をやってみて、連句の魅力に気づきました。良い句ができた時はすごく嬉しかったです。言葉のチョイスが難しかったけれどみんなで考えながら、一つの物を作っていくところが楽しかったです。

自分の気持ちとか、日頃の思いや好きな事を句に表現できてワクワクしました。今後イベントがあったら参加したいです。ありがとうございました。

杉山結菜

## 宗祇法師の墓所、案内板設置

十一月、懸案の宗祇法師の墓所を示す案内板を定輪寺正面階段上に設置することが出来ました。

これで多くの来訪者の皆さんに、迷わず墓所を訪れていただくことができます。これを機会にぜひ宗祇の墓所へお出かけください。

